

チャプレンだより

No. 4 / 2018 年 4 月

【発行：関学理工学部宗教主事室】

理工学部宗教主事：前川 裕
©All rights reserved.

「チャプレンだより」第4号をお届けします。前回は2014年6月の発行でしたので4年振りとなります(過去の号は理工宗教主事室HPに掲載しています)。今後も隔月程度で発行できればと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

私の専門は新約聖書学ですが、宗教全般についても学んで来ています。なにかご質問やご相談があれば、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

「ミッション系大学」とは…

関学は「ミッション系大学」と呼ばれます。これはキリスト教系大学の総称ですが、厳密には宣教団体(mission = キリスト教宣教を行う団体)が中心となって設立された学校のことを指します(たとえば同志社大学はミッション系と呼びません)。関学はアメリカ人宣教師のウォルター・ランバスが設立したものですから、まさしく「ミッション系」の学校です。

ランバスは「牧師養成と青年への全人教育」を目的として関学を設立しました。「牧師養成」は宣教目的ですが、「青年への全人教育」はそれに留まらない広い目標であったといえます。ランバスの目は最初から「世界市民」(World Citizen)の育成に向けられていたのであり、それが彼の「ミッション」であったと言えるのではないのでしょうか。(関西学院作成の冊子『輝く自由 関西学院 その精神と理想』も御覧下さい：関学HP上にあります)

チャペル・アワー案内

理工学部チャペルは、月・水・金に4号館401教室(チャペル教室)で、火曜は6号館101教室で行っています。1限のキリスト教に続けて同じ部屋を使っており、1年生が多く出席しています。

チャペルは学部生だけのためのものではなく、関学に属する全ての方々のためのものです。また来られたことの無い方は、チャペルでどんなことをしているのか、いちど覗きにお越し下さい。キリスト教の礼拝形式を取っていますが、どの宗教の方も歓迎します。

チャペルの内容は、毎週お配りしている色刷りの「チャペル週報」、また4号館入り口EVそばの掲示板に掲出しています。

【聖書のことば】

「真理はあなたがたを自由にする」

(ヨハネによる福音書8章32節より)

イエスが信じる者たちに語った言葉とされています。関学では社会学部の聖句となっています。新共同訳では「自由にする」ですが、原語では未来系なので、「自由にするだろう」「自由になることになっている」というニュアンスとなります。聖書の文脈では「真理」=イエス(を信じる)ことの意味で、イエスを信じることによって人は真に自由になるという趣旨です。

現在、この言葉は元々の文脈を離れても使われています。大学や図書館の建物にラテン語でVeritas Liberabit Vosと刻まれているのを御覧になった方も多いのではないでしょうか。学問的な意味で、「真理」を学ぶことが人々を自由にする。さまざまな自然法則を理解することによって、人間は新しい自由を獲得してきたと言えます。飛行機を初めとする交通機関もその一つでしょう。また精神的な面においても、正しい知恵が旧弊な因習から人々を解き放つことは数多くあったはずで。

自然の中の「真理」を求めようとするのは、まさに理工学部的な姿勢だと言えるのではないのでしょうか。さらに、それによって得られた「自由」をどのように用いるのか。これは科学とはまた違った切り口と言えます。わたしたちには、真理を得ることによって、自らの生き方に対する新たな問いが投げかけられているのかもしれない。

私のCV (その4)

小学生から高校生にかけての趣味の一つに、アマチュア無線がありました。「ハム」ですね。父は設備管理の仕事をしていました。父も電機系にも詳しく、家には半田ごてが普通にありました(しかも100W)。科学雑誌を読んでいたら私からだったのか父だったのかは忘れましたが、私が小学5年生のときに当時の電話級免許を取得、父と一緒に開局しました。声変わり前にはよく女性と間違えられたものです…。その後には電信級を取得、さらに中学2年に2級に合格できました。2級は筆記試験でルートの開平問題もあったのですが、中学の先生に教えてもらって勉強しました。小学生の卒業文集あたりには、将来の夢として無線通信士などを書いていたはずで。今やインターネット通信の全盛時代で、通信士になっていたら大変なことになっていたかもしれません。高校時代にはだいたいモールス通信ばかりをやっていました。大学に入って家を出たこともあって、ほぼ途絶えた除隊になりました。いま無線の雑誌を見ると、無線機の値段の高さに驚きます。父と一緒にだったとはいえ、そのような趣味を許してくれた親には感謝しかありません。(続)

ご意見・ご感想など、なんでもお寄せください…

yutaka.maekawa@kwansei.ac.jp ないし本人に直接…